

目 標

我々、いわき経済同友会会員は、企業経営者の異業種交流活動を通して、三つの目的を達成し、仲間の連帯を深め、地域経済の発展と活性化をはかり、夢と希望に満ちあふれた地域社会づくりをめざします。

SEA IWAKI

10月号／2017年10月1日発行

三つの目的

- 一つ 元気な会社をつくろう
- 二つ 元気な人財をつくろう
- 三つ 元気な経済圏をつくろう

9月11日(月)
18:00～

9月通常例会

会場 飯野八幡宮会館



「飯野八幡宮の歴史と地域の役割について」

講 師 飯野八幡宮 宮司 飯野 光世様

講演会内容

平成23年3月発生した東日本・太平洋沖大地震により当宮にも大きな被害が及び土蔵造りの宝蔵の壁面漆喰は崩落し、葺替え後20年余経過した御本殿屋根にも経年劣化の悪化が一段と進み、雨漏りの恐れが生じました。

平成25年文化庁に対し本殿柿葺き屋根破損状況を報告し、応急的修理を施しましたが、平成25年9月に発生した地震により破損が進み、柿葺き屋根の全面葺き替え工事が計画され、この程完了致しました。

■御由緒

社伝によれば、康平6年（1603）源頼義が奥州合戦（前九年の役）出征の時、京都石清水八幡宮を戦勝祈願の為勧請したという。その後文治2年（1186）関東御領好島壯の総社として、源頼朝の命により本社石清水より御正躰と奉じて、赤目崎見物岡へ奉祀した。元久元年（1204）火災に遭い、社地を飯野平に移して二位禪尼北条政子が本願となって社殿を造営。建永元年に（1206）に遷宮した。



宝治元年（1247）時の執権北条時頼は幕府政所執事伊賀光宗（宮司飯野家の祖）を好嶋西荘の預所に任命した。以後代々預所職と神主職を兼ね、現宮司飯野光世にいたる。

爾来星霜を経て、南北朝の騒乱は当社にも及び、兵火の災に遭い社殿を焼失。建武2年（1335）足利尊氏に訴願して、好嶋荘地頭衆に命じ修復させた。この間、建暦元年（1211）御浜出の神事（潮垢離）、貞和2年（1346）放生会における流鏑馬の神事が行われるなど、数多くの祭礼行事がととのった。

室町時代には神領の減少が見られたが、菊田・磐崎・磐城・櫛葉・標葉の岩城五郡の総社として、岩城家を始め一般庶民からも厚い信仰を受けた。特に岩城家は数度にわたって所領を寄進し、天文20年（1551）岩城重隆は梵鐘を奉納した。

社殿は慶長19年（1614）火災に遭い、元和2年（1616）に再建された。当初は前殿付き流れ造りであったが、延宝2年（1674）の大改修で桁行三間梁間三間のこけら葺入母屋造りとなり、幣殿・拝殿も造立された。

幕府から神領として四百石の朱印地が与えられ、歴代の磐城藩主も五十石の土地を寄進するなど、篤い崇敬によって護持されてきた。本地垂迹の説によれば、八幡大菩薩の本地仏は阿弥陀如来という。そのため、境内には武内社、春日社、白旗社などの末社の他、阿弥陀堂、釈迦堂、地蔵堂、十王堂、鐘楼などの佛堂が立ち並んでいた。さらに境域を取り囲むように、周辺には16の供僧寺が軒を並べて連なり、ひときわ荘厳さを加えていた。

宮司飯野家のもとで、社家32人、神子8人、真言

宗16ヶ寺の供僧たちが奉仕していた。明治初年の神仏分離令により、供僧寺と共に佛堂施設も除かれた。

明治12年、県社に列せられた。明治6年、宮号の使用が禁止された後は飯野八幡神社と称していたが、昭和36年に飯野八幡宮の古称に復した。

■御例祭

往古より飯野八幡宮の例祭は8月14・15日であったが、明治40年より太陽暦の9月14・15日となった。近年では、9月15日の例大祭直前の土・日曜日に古式大祭が行なわれる。祭礼は、9月1日の祭始祭からはじまり、円座的祭、潮垢離神事と続く。潮垢離神事は、藤間海岸で宮司・騎士・馬の潔斎が行われた後、浜辺で採取した貝殻を杯にして直会がある。その後、鏑馬の宿に立ち寄ってサカムカエの儀を行う。裸馬に乗った騎士が庭先を駆け込むもので、「空駆け」あるいは「お走り」とも言われる。古式大祭では、流鏑馬と神輿渡御および八十八膳献饌の神事が行われる。流鏑馬騎士は狩衣姿で笠、むかばき、箭を着け、弓を持つ。笠は五色の紙垂で飾られる。神前でお祓いをうけたあと、神域を一巡して一の鳥居の前で礼射式を行ってから馬場に向かう。馬場御旅所では空駆け、生姜撒き、扇子撒き、的矢の順で行われる。神輿は稻荷台にある御旅所まで渡御する。還御のあと、直ちに八十八膳の献饌が行われる。

八幡宮の祭礼は、親も子も共に育つとの縁起で参拝者が生姜を買い求めるため、別名生姜祭ともいわれる。また、男子には太刀・太鼓、女子には手箱などを買い与える風習がある。

JCとの懇談会（10月例会）

- ①いわきFCを市民にもっと愛してもらうために
- ②いわきFCが建設予定のスタジアムに欲しい機能
- ③あなたが思い描く東北NO.1のいわきとは



9月グループ会報告

第1グループ会

■日 時 9月27日(水曜日)19:00~
 ■場 所 建設会館

講師 吉田実貴人（会員講師）

テーマ 「いわき経済の見通し」

いわき市の経済の現状と見通し・課題について市会議員の視点からお話を頂いた。

内容

- ①新設住宅着工数の推移。（落ちてきたとはいえ震災前より高い水準で推移）
- ②薄磯・豊間震災復興事業にかけた費用

③他に無い工業団地数。サービス業が主力産業。

④まだ続く復興予算

⑤長期避難者と原発関連作業者がいわき経済（減少した人口）を保管

⑥少なくとも50年は続く廃炉作業

⑦医師不足の解消

⑧いわきに戻らない（戻れない）学生

⑨車が無ければ観光できないいわきの実態からの観光客誘致。まず市民から。

5. 感想

現状のいわきの実態と課題について理解することができた。民として気付かなかったことを指摘していただき目に鱗の内容であった。



第3グループ会

■日 時 9月1日(金曜日)12:00~
 ■場 所 関伽井嶽薬師

「関伽井嶽薬師火渡りの行」

今年も火渡り行に総勢16名で参加してまいりました。

今年はみづほ銀行の新人行員、そしていわきFCの田村監督はじめ6名も参加してもらい一番最初に火渡りをさせていただきました。

幸い火傷をした方はいませんでしたが、皆さんちょっと不安そうにしっかり行きました。

また来年も楽しみに参加します。



第4グループ会

■日 時 9月11日(月曜日)18:30~
 ■場 所 飯野八幡宮会館

第6回(9月度)担当例会:

奥州飯野八幡宮の歴史と文化財を訪ねる。

講師に、飯野八幡宮 飯野光世宮司様にお願いし、「飯野八幡宮の歴史と地域の役割について」をテーマにお話をいただきました。

飯野八幡宮の約830年にわたる沿革、国・県・市指定の文化財、建造物、例祭や宝物などについて紹介していました。

今回、平藩主 内藤家の奉納品の献膳祭器による神事「八十八膳御神饌」は普段氏子でもあまり見ることが出来そうですが、特別に拝見できました。

由緒と歴史を誇る地元の宝の飯野八幡宮の知識を深めました。

11月創立記念公開例会

11月27日(月)

会 場 パレスいわや
 講 師 いわき市長 清水 敏夫 様
 18:00 ~ 講演会

◆誕生日プレゼント

リンドウが贈られました



左 小松ひとみさん(9月7日生)、右 里見副代表

新入会員紹介



いとう てつお
伊 藤 哲 夫
 株式会社伊藤工務店 代表取締役
 業種／総合建設業
 会社所在地 〒979-0406
 双葉郡広野町大字上浅見川字沢目72-1(広野事務所)
 趣味／ゴルフ・釣り



おお た たけ ひと
太 田 丈 人
 磐栄運送株式会社 取締役
 業種／運送業
 会社所在地 〒971-8183
 いわき市平谷川瀬字三十九町79-4

FMいわき「いわき経済同友会だより」

【11月予定放送】

- | | |
|-----------------------|------------------------|
| ・11月 6 日 新入会員 佐藤 嘉繁 様 | ・11月 20 日 新入会員 中山 定則 様 |
| ・11月13日 新入会員 新妻 弘道 様 | ・11月 27 日 新入会員 波多野和茂 様 |

◇毎週月曜日17時45分からです。(約5分間)

※インターネットでも、FMいわきがお聴きできますので、
 17時45分になったら、下記のところをクリックして下さい。
<http://www.simulradio.jp/>

いわき経済同友会
ご入会のお薦め

いわき市内の企業経営者ならどなたでも入会できます

●会の趣旨に賛同される方は会員の推薦と所定の手続きによりどなたでも参加できます。
 お問い合わせは下記へどうぞ。ご入会を心からお待ちしております。

事務局 〒970-8026 いわき市平字童子町4番地-18 いわき建設会館4F
 TEL 0246-23-1200 FAX 0246-23-1211
<http://www.seaiwaki.jp>
 E-mail:doyukai@triton.ocn.ne.jp

発行 いわき経済同友会 安島 浩代表幹事
 編集 情報委員会 委員長 坂本和久
 副委員長／川崎憲正・田村慎太郎・四ツ倉隆裕
 常葉修一・山崎勇一郎